

議会だより ふたば

第142号
令和5年3月

発行：双葉郡双葉町議会
編集：双葉町議会報編集委員会
〒979-1495
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4
☎ (0240) 33-0309



【処置室】

【受付】

【診療所外観】

主な内容

令和4年第4回定例会

- ・このようなことが決まりました…P2～5
- ・一般質問……………P6～8
- 原発視察、友好都市推進事業事前調査……P9
- 臨時会・議員研修……………P10
- 議員インタビュー……………P11
- 議会のうごき……………P12

双葉町診療所が
開所しました

決まりました

令和4年第4回議会定例会は、12月6日から7日までの2日間の日程で開かれました。
12件の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。
内容は次のとおりです。

主な補正予算

総務費	心の復興事業補助金	350万円
土木費	町道等全般補修工事	500万円
	戒川橋測量設計等業務委託料	1400万円
災害復旧費	公共土木施設災害復旧測量設計業務委託料	600万円
	林道災害復旧工事	100万円



条例の制定・改正

● 双葉町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定

地域再生計画の規定により、地方活力向上地域内において地方活力向上地域等特定業務施設整備計画の認定を受け、当該特別償却設備を新設又は増設した事業者に対して課する固定資産税の不均一課税の措置を講ずるため制定

● 町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

国の人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に伴い、期末手当を0.1月引き上げるための改正

● 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

国の人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に伴い、期末手当を0.1月引き上げるための改正

● 職員の給与に関する条例の一部改正

国の人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に伴い、給料月額を若年層に重点を置き、引き上げるための改正、さらに期末手当及び勤勉手当についても、年間支給月数をそれぞれ0.05月引き上げるための改正



【企業立地が進む中野地区復興産業拠点】

土地の取得

- 目的：中野地区復興産業拠点整備事業用地
- 土地の所在：双葉町大字中野字深町地内
- 土地の面積：21,552㎡

第4回
定例会
12月6日～7日

このようなことが

町道の廃止

久保前・中野線については中野地区復興産業拠点の整備、深谷・こ線入道線についてはJR常磐線に架かる歩道橋の撤去準備、久保前・北細田線については前田川復旧工事に伴い町道路線を整理するため道路法第10条第1項の規定に基づき廃止

路線番号	路線名	起 点		総延長
		終 点		
114	久保前・中野線	大字新山字久保前33番1地先	から	2,537.2m
		大字中野字渋江270番2地先	まで	
370	深谷・こ線入道線	大字長塚字町西63番地先	から	176.0m
		大字長塚字深谷66番地先	まで	
446	久保前・北細田線	大字中野字渋江56番地先	から	1,854.6m
		大字長塚字観音堂129番地先	まで	

町道の認定

久保前・谷沢町線及び渋江・宮ノ脇線については中野地区復興産業拠点の整備及び、増田・観音堂線については前田川復旧工事に伴い道路法第8条第1項の規定に基づき町道路線に認定

路線番号	路線名	起 点		総延長
		終 点		
104	久保前・谷沢町線	大字新山字久保前33番1地先	から	855.1m
		大字長塚字谷沢町161番4地先	まで	
446	増田・観音堂線	大字両竹字増田146番2地先	から	1,798.2m
		大字長塚字観音堂273番3地先	まで	
526	渋江・宮ノ脇線	大字中野字渋江70番1地先	から	305.3m
		大字中野字宮ノ脇15番1地先	まで	

指定管理者の指定

● 公の施設

名称 双葉町産業交流センター
所在地 双葉町大字中野字高田1番地1
指定管理者

東京都北区王子三丁目19番7号
株式会社サンアメニティ

● 指定管理期間

令和5年4月1日から令和8年3月31日

質疑内容

【問】菅野博紀

津波等の災害時は地元企業の方が的確に対応できると考えるがいかがか。

【答】町長

防潮堤・防災林の整備により減災を図り、避難訓練等を実施する。

【答】復興推進課長

町の交流拠点として、地域・関係団体との連携を図り、交流人口の増に資するとともに地域経済に寄与する提案があり、総合的に判断。

【問】菅野博紀

津波避難は地元企業の方が素早い判断ができる。プロポーザルもよいが、地元企業の活用について伺う。

【答】町長

プロポーザル指定企業から地元企業の参入に配慮するとの報告を受けている。

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正・議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正にかかる主な討論を報告します

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について

【反対】

岩本久人：燃料費や食料品等が高騰している中、町民は避難生活が継続している。町長はじめ特別職の期末手当の引き上げは見送るべき。

【反対】

山根辰洋：町が帰還を果たしたばかりで先行きが不透明であるため予算抑制の観点から議員の期末手当の引き上げは見送るべき。

【賛成】

菅野博紀：第3回定例会において大幅な補正予算が組まれており、町の財政を考え、期末手当の引き上げは反対する。

【賛成】

菅野博紀：議会として、今後の見通しが不透明であることや物価高騰の現状を踏まえ、議員自ら身を切るべき。

作本信一：昨年同様、人事院勧告に従い、期末手当を引き上げるべき。

石田翼：原案のとおり賛成。

高萩文孝：昨年も人事院勧告に基づき改正しているため、今回も人事院勧告に従うべき。

高萩文孝：昨年同様、人事院勧告に基づき、今回は増額すべき

《賛成4・反対3で可決》

《賛成4・反対3で可決》



【令和4年第4回議会定例会の様子】

産業厚生常任委員会報告

【出席委員】 山根辰洋委員長、作本信一副委員長、岩本久人委員、高萩文孝委員

【事件名】 双葉町内の安全・安心な生活環境整備について

【調査日】 令和4年10月11日、11月8日

【報告の概要】

■短期的な取り組みに対する提言

- ①有事の際に重要な地区防災計画の早期完成と訓練の実施及び避難所の設定
- ②老朽化している水道インフラの整備計画の着手

■中長期的な取組に対する提言

- ①個人・企業等が地域活動に参画しやすくするための環境整備
- ②住民協働を促進させるための組織づくり
- ③住民ニーズを把握する情報収集の仕組みづくり
- ④継続的な予算の確保



【産業厚生常任委員会の様子】

12月定例会の採決状況

件名	議決結果
双葉町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について	原案可決
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
町道路線の廃止について	原案可決
町道路線の認定について	原案可決
指定管理者の指定について	原案可決
土地の取得について	原案可決
令和4年度双葉町一般会計補正予算（第6号）	原案可決
令和4年度双葉町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
令和4年度双葉町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
令和4年度双葉町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査の件	決定
議員派遣の件	決定

町政に切り込む!

一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信をたずねるものです。

ここでは12月定例会に行われた一般質問の中で、特に注目したい質問を取り上げます。



【菅野 博紀 議員】

1. 双葉町への帰還について
2. 双葉町の除染について
3. 補償・賠償について 



【山根 辰洋 議員】

1. 町の福祉サービス提供の検討状況について 
2. 公共施設の活用方針について
3. 役場組織運営コストについて
4. まちづくりの担い手となる人材育成・確保について



菅野 博紀 議員

質問

文部科学省から、中間指針を見直す方向が示されましたが、被害実態に合った賠償基準ではないように思います。原子力損害賠償紛争審査会に対し双葉町として意見する場が必要だと思えますが、町長のお考えを伺います。

町長答弁

原子力災害に提起されていた7つの集団訴訟に関して高等裁判所判決が確定しましたが、精神的損害の慰謝料の考え方や金額が中間指針の目安と異なることや判決間における相違が認められています。

再質問

本町においては『過酷避難状況による精神的損害』、『故郷損失・変容による精神的損害』、『精神的損害の増額事由』の3点を注視する必要があると考えます。町としては原賠審の現地視察において意見交換は行われており、引き続き原賠審と被害自治体との意見交換の場で意見を述べさせていただきます。

町長答弁

被害の状況は人それぞれ違いがあるにもかかわらず、賠償はみな同じになっっています。被害者である町民の話を原賠審の委員に聞いてもらいたいと思っておりますが、町長の考えを伺います。

答

問

町長答弁

町として、原賠審の対応については、被害者一人一人の被害実態に合った賠償、さらには被害者代表を原賠審の委員の中に含め協議を行うことなどを強く訴えてきました。今後も原賠審だけでなく、国、担当省庁にも要望活動を緩めることなく継続してまいります。



<菅野議員のその他の質問（概要）>

双葉町への帰還について

質問：教育施設、医療施設の整備、今後の町財政など課題解決に向けた町長の考えを問う。

町長答弁：国・県の財源確保、特定目的基金の活用により一般財源の抑制を図り、復興施策推進の財源措置を国等に粘り強く求める。

再質問：避難指示を一部解除したのに、町内に学校がなく、いわき市内にあるのは条例に抵触しないのか。

町長答弁：必要不可欠な施設ではあるが、帰還者の推移を見ながら規模感を見誤ることないようにしたい。また、条例には抵触しない。

再々質問：町内の学校再開の時期及び改修、利活用について伺う。

町長答弁：検討していく。

双葉町の除染について

質問：帰還困難区域の除染計画について、国との協議の進捗を問う。

町長答弁：除染計画などは具体的に決まっていないが、帰還意向調査の結果を踏まえ、除染範囲等の検討が進められる。

再質問：森林樹木植え替えによるカーボンニュートラルと除染事業、同時並行の除染を国に提言してはいかがか。

町長答弁：被災地がモデル地区として取り組む価値はあると思う。原発事故被災地として機会があれば国に話をしたい。

中間指針を見直す方向が示されたが、町として意見を述べる場が必要と考えるが、町長の考えを問う

原子力損害賠償紛争審査会の現地視察における

被害自治体との意見交換の場で意見を述べる





山根 辰洋 議員

質 問

過去の一般質問に対して町内居住者ニーズ把握を行うとの答弁がありましたが、町内へ役場機能移転後に本件に関する調査を実施したか、また、それに基づく計画の検討状況について伺います。

町長答弁

町内居住者の現況は、事前にニーズ把握に取り組み、介護サービスが必要な方については、周辺自治体の事業所と協議し、サービス利用の取組を進めております。今後、高齢者宅の訪問・見守り等を実施するとともに生活支援体制の

問

町内への役場機能移転後に

福祉サービスに関する調査を実施したか伺う

答

地域包括支援センターとの連携等により

ニーズの事前把握に努めている

構築、介護予防事業に計画的に取り組んでまいります。

再質問

段階的な機能回復が重要であると思いますが、今、町としてできることは何か、また、それらの事業実現に向けてのスケジュール感や課題について伺います。

町長答弁

帰還した住民の皆さんのニーズ、特に高齢者の皆さんに必要なものをしつかり把握してまいります。

健康福祉課長答弁

社会福祉協議会と町保健師とで情報共有しながら、ニーズの掘り起こしを行っております。

再々質問

全国で広がっている小規模多機能制度の検討について伺います。

町長答弁

今後検討する価値があると思いましたが、そのためには広域連携強化が必要であると考えます。またこれは近隣町との共通課題でありますので、仕組みづくりを検討していく段階であると考えます。

<山根議員のその他の質問（概要）>

公共施設の活用方針について

質 問：公共施設・町有地の有効活用・機能向上プロジェクトにおける具体的な検討状況を問う。

町長答弁：現在、双葉町コミュニティセンターの活用可能性を検討。

再々質問：お茶会の延長のような場での意見集約を検討してもらいたい。

町長答弁：様々なニーズに柔軟に対応していく。

役場組織運営コストについて

質 問：職員の通勤や二地域拠点のコスト増について、町長の考えを問う。

町長答弁：現行条例等に基づき、業務効果を最大限発揮し、組織維持を図る。

再 質 問：職員の住環境への投資も施策として考えられるか。

町長答弁：職員のケアについて努めたい。

まちづくりの担い手となる人材育成・確保について

質 問：地域おこし協力隊及び地域プロジェクトマネージャーという交付金制度活用について、町長の考えを問う。

町長答弁：他自治体の成功事例も参考にしながら取り組んでいく。

再 質 問：制度活用にあたり、具体的な考えはあるか。

町長答弁：先行事例を参考に、できることはやっていく。



動画でも視聴可能です。

福島第一原子力発電所視察 1月27日

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所において、福島第一原子力発電所の現状について説明を受けたのちに、ALPS設備や一時保管エリアなどを視察いたしました。

また、視察終了後、福島第一原子力発電所新事務本館内会議室において全員協議会を開催し、「福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ」について説明を受けました。



【東京電力HD(株) 福島第一原子力発電所視察の様子】

友好都市推進事業に関する企画に伴う事前調査 1月15日~22日

東日本大震災以前より、双葉町立小中学校において外国青年英語指導助手（ALT）として指導されていますバラード・アンソニーさんとフィリップ・ジェリーマンさんの出身地であるイギリスのハル市及びビバリー町との友好都市及び生徒海外派遣事業の実施について事前調査を行うべく、調査団が派遣されました。両市町でクリスティーン・ランドール市長、リンダ・ジョンソン町長とそれぞれ面会し、友好都市に向けて有意義な懇談が行われました。



【ハル市長との面会の様子】



【ビバリー町長との面会の様子】

令和5年第1回議会臨時会 2月2日

◆ 報告第1号 専決処分の報告について

専決第22号 石熊橋(下部工)橋梁災害復旧工事請負契約の一部変更について【報告】

◆ 報告第2号 専決処分の報告について

専決第2号 備品購入契約の一部変更について【報告】

◆ 議案第1号 専決処分の承認について

専決第1号 令和4年度双葉町一般会計補正予算(第7号)【承認】

◆ 常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任

双葉町議会委員会条例の規定に基づき、委員の選任が行われました。

《総務教育常任委員会》

- ・委員長 石田 翼
- ・副委員長 小川 貴永
- ・委員 菅野 博紀
- ・委員 伊藤 哲雄

《産業厚生常任委員会》

- ・委員長 岩本 久人
- ・副委員長 山根 辰洋
- ・委員 作本 信一
- ・委員 高萩 文孝

《議会運営委員会》

- ・委員長 岩本 久人
- ・副委員長 石田 翼
- ・委員 山根 辰洋
- ・委員 小川 貴永
- ・委員 高萩 文孝

双葉地方町村議会議長会 議員研修会 2月10日



【研修の様子】

2月10日、「富岡町文化交流センター学びの森」において双葉地方町村議会議員を対象に令和4年度双葉地方町村議会議員研修会が行われました。

- 講師 政治ジャーナリスト 田崎 史郎氏
- 演題 今後の政局・政治展望

議員インタビュー

各常任委員会、議会運営委員会の任期満了に伴い、第1回臨時会において、新しい議会構成が決められました。改めて、議員のこれまでの取り組み成果や今後の抱負について伺いました。



8番 伊藤哲雄議長

双葉町新たなステージ。帰りたくなる、住みたくなるような新生双葉町へ新たな思いを込めて邁進してまいります。



7番 高萩文孝副議長

昨年は、議会もようやく双葉町にて再開することができました。新たな気持ちで引き続き、町民の皆様を全力でサポートさせていただきます。



1番 山根辰洋議員

地域の意思として言論を残す。これが議員の大事な仕事の一つだと学びました。次の2年も地域にとって価値ある言論を残せるよう精進してまいります。



2番 小川貴永議員

原発事故による精神的な慰謝料の増額・故郷喪失に対する慰謝料の水平展開のサポートと伝統文化の継承・再生に尽力していきます。



3番 作本信一議員

帰町された方、戻れない方がともに、不安なく安全・安心に暮らしていけるよう、町民の皆様の声をも町政に届けてまいります。



4番 石田翼議員

ふるさと再生・復興・復旧・帰還困難区域の早期除染避難指示解除双葉町の早期復興・帰還に向けて取り組んでまいります。



5番 菅野博紀議員

中間指針の見直しが見えましたが、引き続き、町民一人一人の被害実態に沿った補償・賠償を求めてまいります。



6番 岩本久人議員

帰還困難区域全域の避難指示解除、住環境・医療・農業再生等に取り組むとともに生活支援継続、伝統・文化の継承、町と町民の絆の維持を図ってまいります。

町民の皆さまの負託に応えるべく
町の復興・ふるさと再生に議員一丸となって努力してまいります

議会のうごき

12月

- 6日 令和4年第4回双葉町議会定例会
議会運営委員会
総務教育常任委員会
産業厚生常任委員会
- 7日 令和4年第4回双葉町議会定例会
議会全員協議会
議会報編集委員会
- 9日 ふたば・ふたたび☆みらいへのヒカリプロジェクト
イルミネーション点灯式
- 22日 いわき・まごころ双葉会12月例会
- 7日 双葉町ダルマ市 (双葉町駅前広場)
双葉町賀詞交換会
双葉町はたちを祝う会
- 8日 双葉町ダルマ市 (双葉町駅前広場)
令和4年度双葉町民俗芸能発表会
第32回双葉町芸能発表会
- 12日 渡辺復興大臣来庁
- 13日 双葉地方広域市町村圏組合南部衛生センター
焼却施設整備工事安全祈願祭・起工式
- 15日 友好都市推進事業に関する企画に伴う
事前調査 (イギリス)
- 21日 ふたばダルマ市inなこそ (勿来酒井団地)
- 23日 (一社) ふたばプロジェクト事務所開所式
- 27日 東京電力HD(株)福島第一原子力発電所視察
議会全員協議会

2月

- 1日 双葉町診療所開所式
双葉地方町村議会議長会議
- 2日 令和5年第1回双葉町議会臨時会
議会運営委員会
議会全員協議会
- 10日 双葉地方町村議会議長会主催
町村議会議員研修会
双葉町商工会懇談会
- 18日 第2回相馬野馬追保存会総会
- 22日 双葉地方水道企業団議会定例会
- 24日 双葉地方広域市町村圏組合議会定例会
- 27日 福島県町村議会議長会定期総会



【駅前広場イルミネーション点灯式】

編集後記

今回の議会だよりは昨年12月定例会で決まりました事項を中心にお知らせいたします。

年明けて1月7日から8日にかけて双葉町ダルマ市が震災後初めて双葉の地で開催されました。2日間ともたくさんの方の出で賑わい盛会に終わることができました。

役場本庁舎も双葉に戻り、復興に向けた新しい町に希望を持たれるものと感じております。

今年もより良い議会報の発行に向けて、編集委員一丸となって取り組んでまいります。皆様方のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。(石田)

【編集委員会】

- 委員長 山根辰洋
- 副委員長 小川貴永
- 委員 作本信一
- 委員 石田翼



議会だよりへのご意見・ご感想をお寄せください。

双葉町議会事務局

電話:0240-33-0309
FAX:0240-33-0310
メールアドレス:
gikai@town.futaba.fukushima.jp